

『ハイフローセラピー(HFT)の使用実態に関する多施設共同研究』 に關係する患者様、ご家族の皆様方へ

ハイフローセラピー(HFT)は加温・加湿することによって経鼻で30L/分以上の酸素療法を行うことができる機器であり、急性期、慢性期を含め呼吸不全の多くの臨床場面で使用されつつあります。

当院では『ハイフローセラピー(HFT)の使用実態に関する多施設共同研究』という調査、研究を行っています。HFTの使用実態を明らかにし、より適正な治療を行うことがこの調査、研究の目的です。

<調査の対象となる患者さま>

2012年7月以降に当院でHFTを行った患者様を対象としています。

<調査方法>

患者さまのカルテ等の記録をもとに調査いたします。本調査では、患者様に新たなご負担をおかけすることはありません。

<患者さまのプライバシーに関して>

プライバシー・個人情報は厳重に守られます。お名前、生年月日など患者さまを特定できる情報が外に出ることは決してありません。

情報の使用を希望されない場合は、使用いたしませんので下記までご連絡ください。ただし、データを解析し、学会及び論文などで発表後は使用を控えることはできませんのでご了承ください。

ご不明な点がございましたら、以下に示す本調査の研究担当者までお問い合わせ下さい。

〒591-8555 大阪府堺市北区長曾根町1180

国立病院機構近畿中央胸部疾患センター

香川 智子、佐々木 由美子、井上義一

TEL: 072-252-3021, FAX: 072-251-2153

なお、この調査は病院外の専門家の方を含んだ臨床試験審査委員会(IRB)における厳重な審査・承認をうけて実施しています。

(当院ホームページに掲載)